

## 会 議 録

会議名：令和5年度第2回大洲市地域公共交通活性化協議会

日 時：令和6年3月11日(月)14:00～15:06

場 所：大洲市役所2階大ホール(A・B)

出席者：委員18名(欠席4名・代理3名)

事務局4名

議事内容	
1 開会 2 会長挨拶 3 議事	
議事内容	
発言者	発言内容
事務局	事務局により以下の説明を行う。 ・委員の紹介 ・委員数22名のうち、出席者数18名、欠席4名のため、会議が成立すること
委員	異議なし
会長	(会長挨拶) それでは議事の方に入りたいと思います。議題1公共交通の現状と対応について事務局からをお願いします。
事務局	(議題1公共交通の現状と対応について) 会議資料に基づき説明
会長	路線バスの廃止や減便、デマンド型交通の運行内容の変更があるとのことでした。ご質問ありませんでしょうか。
委員	路線バスが廃止されると利便性が低下すると思われませんが、そのことに対する手当はどのようにするお考えなのか。
事務局	代替手段となるデマンド型交通は利便性が低下しないように検討いたします。運行日は他のデマンド型交通が基本としている週2日ではなく、路線バスの平日運行を維持して週5日運行を検討しています。ただし、便数については、他のデマンド型交通と同じ行き1便、帰りは2便ということで始めさせていただきたい。 曜日や便数のことも含めて、地域の方のご意見を伺いながら内容を検討していきます。
会長	その他ご質問、ご意見ございませんか。 私からはデマンド型交通の利用状況について、平均利用者数が少なくなっているとのことでしたが、公共交通は単なる移動手段ではなく、他者と一緒に空間を共有することで得られる効果大きい。バスの中での交流が生きがいになっている方もいます。現状の1便につき約1名の乗車ではなく、1便につき平均利用者数が2名以上になるように利用促進をお願いしたい。 その他異議ありませんか。

委員	異議なし
会長	ありがとうございました。それでは次に議題2 デマンド型交通の実証運行(肱川・河辺地域)について事務局から説明を求めます。
事務局	(議題2 デマンド型交通の実証運行) 会議資料に基づき説明
会長	今までは福祉と交通とは個別に施策を展開していた交通資源を整理してデマンド型交通として実証運行するとの説明がありました。地域の方と話し合いながら進めていってほしい。
委員	河辺・肱川の見直しということで、資料を示してもらっているが、デマンド型になったことにより予約が必要になり、手間が増えると感じる可能性がある。乗り場や予約方法を分かりやすく周知し、利用しやすい環境を整えていただきたい。
事務局	ご指摘のとおり、予約が煩わしいと思われることのないように電話上で利用登録ができるようにしています。1月頃には地区全体にお知らせの書面を配布する予定です。また、現在バスを利用している方には郵送で直接送付することにしております。また、公民館等を通じて新たな利用者の発掘もしていきたいと思っています。
会長	気軽に外出できるだけでその人の生活レベルは一つ上がります。是非直接のコミュニケーションをした上で促進策を考えていただきたい。他に質問はありますか。
委員	異議なし
会長	それではこれで予定されていた二つの議題の審議を終了しましたので、進行を事務局にお返しします。
事務局	本日予定しておりました議事は以上となります。閉会にあたり副会長よりご挨拶いただきたいと思っております。宜しくお願いいたします。
副会長	失礼いたします。議題2点の議事につきまして、ご協議をいただき誠にありがとうございました。
事務局	以上をもちまして、大洲市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。ありがとうございました。